

第16回 国立大学法人信州大学経営協議会 議事要録(案)

日時 平成19年10月19日(金)13時20分~14時45分
場所 ホテル「メトロポリタン長野」2階「千曲B」(長野市)
出席者 小宮山学長, 内田, 大和田, 坂本, 鹽野, 菅谷, 茅野, 安川, 藤沢, 小坂, 白井, 野村,
勝山, 須田 各委員
オブザーバー 村山副学長, 梶谷監事
欠席者 大崎委員

議事に先立ち, 議長から, 学長再任あいさつがあり, 続いて, 新任の小坂理事並びに村山副学長の紹介があった。

第15回議事要録確認

議長から, 前回議事要録(案)について諮り, 確認された。

議 題

1 国立大学法人信州大学組織に関する規則の一部を改正する規則(案)について

勝山理事から, 医学部附属病院の副院長を1名増員し, 看護部長を充てることとしたい旨の説明の後, 総務課長から, 資料 1に基づき, 改正内容等について説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認された。

2 平成19年度における目的積立金の使用計画(案)及び平成19年度補正予算(案)について

藤沢理事から, 資料 2に基づき, 今年度目的積立金の使用計画(案)と同計画に基づく補正予算(案)について説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認された。

学外委員から, 次の内容の意見があった。

目的積立金としての使用申請額は, 全学のために節約したということはないか。

繰越金が学部の既得権ということなら, 議論する必要はないことになる。

目的積立金が次期中期計画に繰り越せるのかどうかは, 重要な問題だ。

ある程度大きなことをやるには時間がかかるものであり, そういうことも配慮して考えたほうがよい。

大きな事業を繰越金で行うのはなんとなくピンとこない。大事な事業なら当初の予算に少し無理してもどうして組み込まないのかと思うし, 繰越金の額が大きいものは, そもそも要求が甘かったのか, 配分が甘かったのかとも思う。

項目別にみると, 個別部局の取組みとしてやらなければいけないことと, 大学全体として基本的な方針の下にやるということが分かるようにしておいたほうが理解は得られやすいし, 学外にも説明しやすい。

全学のステップならば, こういう効果があると考えて決めたという説明をつけておくとよい。

3 長期ビジョンについて

議長から, 前回までの意見等を踏まえて関係者で検討中であり, 更に継続して検討することとしている旨の説明があり, 続いて, 白井理事から, 資料 No. 3に基づき, 前回以降の変更箇所について内容説明の後, 今後は同ビジョンに基づくアクションプランを策定していく予定である旨の説明があった。

学外委員から, 次の内容の意見があった。

地球問題とか環境変化の問題とかを踏まえたうえで, 大学の哲学としてアクションプランを考えてもらいたい。

やや抽象的な表現の多いビジョンをアクションプランに落とし込む段階では, これが信州大学だという形を中身に落とし込んでもらいたいし, 今後の大学経営を考えると, 志願者の増加に繋が

る情報発信ということも念頭に置いてもらいたい。
大学は学問の府であり、高い学問を追及するという志を理念のなかに堂々と打ち出して欲しいし、
理念と目標の内容が少し合っていないように思うところもある。
理念と目標の内容の使い分けや並べ方を少し工夫したほうがよいのではないか。
難しいと思うが、定量的に出せることがあれば入れたらどうか。

4 学長選考会議委員の選出について

議長から、経営協議会委員の任期更新に伴い、学長選考会議委員を改めて経営協議会から選出する必要があるが、学外委員には引き続きお願いしたい旨の提案の後、総務課長から、資料 4 に基づき、8名の委員(案)について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

報告事項

1 平成18年度に係る業務の実績に関する評価の結果について

村山副学長から、資料 5 に基づき、評価結果の概要報告があった。

学外委員から、次の内容の意見があった。

企業では、業績評価を導入後に混乱して取り止めたところも見受けられるので、相当慎重に行っていたいただきたい。

業績評価が計画から遅れているということであれば、こういう問題意識で方法を決めて検討しているのに、そう簡単にはできないということを主張できるなら、遅れていることにはならない。我々も認めた計画で責任もあるということも認識しないとイケないが、業績評価は早めに仕上げるのが良いということでもないのだから、あわててやることはない。ただ、それでは苛められることはあるので、そういうことにならないようにしていけばよいのではないか。

仕事の内容で実績が把握できるものとできないものがあり、教育というものは誰でも量れないものだから、始めから完全ではないということを宣言して誉めることをやって欲しい。咎めるようなことをやっては、何の意味もないと思う。

2 平成18年度決算について

藤沢理事から、資料 6 に基づき、文部科学省に提出した本法人の財務諸表が承認された旨の報告があった。

3 生活協同組合等の学外者が使用する施設への固定資産税課税について

藤沢理事から、松本市側で対象施設の評価額を見直した結果、当初の見込額より減額した課税額が決定した旨の報告があった。

4 民間等との共同研究にかかる間接経費について

白井理事から、資料 7 に基づき、平成20年1月以降の申込みから、直接経費の10%相当額を間接経費としてお願いすることとした経緯について説明があり、今年度第2四半期までの受入状況及び大学別共同研究・受託研究・特許出願件数の実績について報告があった。

5 松本キャンパスにおけるISO認証取得について

藤沢理事から、松本キャンパスが環境ISO14001認証審査に合格し、10月27日(土)に環境マインド育成国際会議に併せて認証式を行う旨の報告があった。

6 シニアサマーカレッジの実施について

小坂理事から、資料 8 に基づき、実施結果の概要報告があり、来年度も継続して実施する予定である旨の説明があった。

7 その他

(1) 松本市市制施行 100 周年記念事業「岳都松本 小谷コレクション展～信州大学の名品～」及び本学主催「川井郁子ヴァイオリンコンサート」事業について

野村理事から、配付パンフレットに基づき、本学が係わる事業の開催案内があった。

(2) 次回の開催について

議長から、今回は 2 月又は 3 月の開催予定であって日程調整する旨の説明があった。

以 上